NEWS

特定非営利活動法人 メイあさかセンター

メイ(MAY)文庫 つうしん

No. 31 2003年12月25日発行

協働

小・中学校・高等学校・公共施設で

朝霞第六小学校へ小さな集い＋富士見クラブ

教育委員会・文化協会と

手話（お正月のうた）

朝霞で

児童も

高齢者も

マレーシアで

マレーシアサバ州タワウ町ムロタイブサール小学校

踊り子にピエロをプレゼント

発行　特定非営利活動法人メイあさかセンター(MAY ASAKA CENTER)

住所　351-0011 埼玉県朝霞市本町２－７－１７

電話　048-468-6972　FAX048-467-7699 E—mail mayasaka@swany.ne.jp

郵便振込　00130-9-114811 特定非営利活動法人メイあさかセンター（会費・カンパ）

朝霞から世界へ・世界から朝霞へ　生涯学習でいきいきと

小さな集い

朝霞市高齢者生きがい活動支援通所事

手作り品は
応援者へのお礼に
国際交流の贈り物に
展覧会の展示飾りに
福祉施設に寄贈
介護保険利用者
90歳以上に

療育音楽月例会は　4回も発表会参加を・・・
中学生・合唱連盟・サークル・個人的に・・・
応援出演で盛り上げてくださいました。

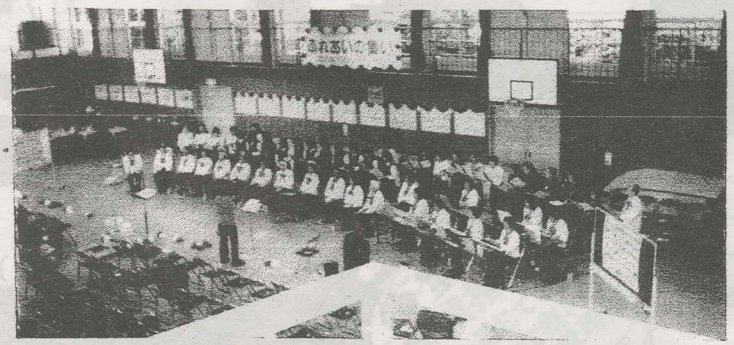
今年のレパートリーは
メインが大きな古時計

6月22日　図書館祭に参加発表
8月24日　中央公民館サマーフェスティバル
10月26日　ふれあいの集い　発表の部
11月10日　朝霞市文化祭合唱祭に参加

社会参加に繋がる

ミニデイサービス参加者レクリエーションプログラムが豊富に

囲碁彩霞クラブ（伊藤政男様代表）との出合いで・・・・・6級取得の参加会員



コーラスミモザ・童謡を歌う会カナリヤさんに応援していただきました
飛び入り応援は朝霞第四中学校吹奏楽クラブの生徒さん達でした。

火曜日・水曜日は碁盤を間に至福の時間を！

月例会は楽器も歌も手話も、インストラクターとともに、笑顔・笑顔で

(財)東京ミュージック・ボランティア協会
〒160 新宿区西新宿7-19-8藤原ビル

【療育音楽について】

療育音楽（赤星式音楽療法）は、音楽を使って、楽しく心身のリハビリテーション（機能回復）、健康維持、老化遅延を目指しています。　音楽を上手にすることが目的ではありません。
療育音楽において楽器を演奏したり歌を歌ったりすることは、精神的にストレスの発散を促し、身体的には音楽にのって日常あまり使わない筋肉や関節などを使うことで、無理なく自然なリハビリにつながります。

23回 朝霞市合唱連盟演奏会

合唱祭では例年合唱連盟の方々が応援で出演してくださいます。

娘さんも応援出演【キーボード】で。

地域に浸透して・・・・
手作り品が大活躍・・

＊＊5月から12月25日まで＊＊

リサイクル布のピエロは ・・・・・・・・・・・110個
フェースタオル利用お手拭きぞうさん・・ 46個
くすだま(折り紙や広告紙で)大・中・小・・30個
手編みクッション・座布団・・・・・・・・・・・・・20枚
手編みアクリル毛糸たわし・・・・・・・・・・ 40枚

時おり、お若いボランティアがミシンを踏んで、大量に仕上げてくださいます。また、元手芸店のオーナーだった高齢者も特技で量産を・・・・・・・・大助かり！

音楽が好きな方々も，手芸が好きな方・料理が得意な方も、それぞれの特技を活かして、時には先生役に、相互研修が出来るようなプログラムを組みながら進めています。内部で充足しないときは、SOS で外部からボランティアさんをお願いしています。男性も時間を共有して楽しいようなプログラムを一つでも多くなるように工夫しています。囲碁彩霞クラブとの出会いも大きな財産です。火・水曜日を6名がローテーションを組み通ってくださいます。午後1時から3時までの至福の時間を9月から持たれて、お仲間との会話も弾み笑顔が豊富になりました。おかげさまで、多忙でテンポアップしそうになりがちなスタッフも一呼吸いただけます。男性の会員がヘルパーさんとともにマレーシア産の草〈メンクアン〉を鞣めしているときなどは，この先どんな品物が仕上がるかを楽しみながら、ゆっくりとした時間が過ぎます。12月17日は、地粉でうどんをいっしょに作り料理作りにも参加しました。

手作り品は時にはガレージセールで販売し、運営費や材料費に充当します。ときには、女性学級で思いっきり学習することもあります。いずれも、国際交流・協力の感覚が重ねられます。

ミニデイサービスや月例会を紹介：：：： 展示参加

6月＝図書館祭り　8月＝中央公民館サマーフェティバル　10月＝保健センター健康祭り
11月＝文化祭・高齢者福祉施設デイサービス作品コーナーに展示

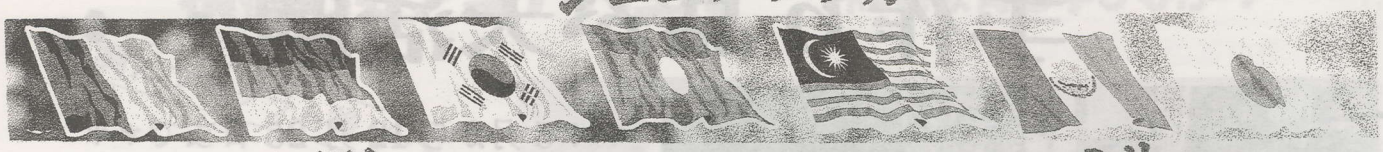
：：：：：： 行 事 ：：：：：：

9月　日帰り研修旅行
丸木美術館見学他
6月～11月　発表会・展示参加
6・10・11月　ガレージセール協力

療育音楽での時間を過ごした後はみんなで、話し合いをして今後の方針を確認しあっている貴重な時間です。

―――このような活動から地域福祉計画策定に高齢者も参画できるように ―――

ジュニアサッカー



マレーシアナショナルチームホストファミリー
埼玉県国際ジュニアサッカー大会　8月

昨年の世界選手権を記念して、発足した埼玉県主催国際ジュニアサッカー大会は，本年は８月初旬の夏休み時期に開催されました。35 チーム参加。海外チームは６チームのみですがマレーシアも選ばれ招待されました。県内９チーム県外 20 チームと大賑わいの大会になりました。

昨年は、メイあさかセンターが、マレーシアと長いこと交流して事情が解るということでホストファミリーのコ-ディネイトを引き受けました。その結果，朝霞市体育課も朝霞市サッカー協会も突然のことで、大慌てで準備をして下さいました。本年は、埼玉県・朝霞市・朝霞市サッカー協会・メイあさかセンターと複数回数同じテ-ブルで話し合いを持ち、協議書を作成し、分担を明確にしてかつ連携し易い環境の下に実施しました。 20 名が 11 家庭にお世話になり、試合もいい結果を出して元気に帰国しました。〆きり間際になっても正式選手名が届かなかったことなどもあって、メイあさかセンター代表が丁度クアラルンプールに滞在中というチャンスを利用してマレーシアサッカー協会を訪問して頂いてくるなどもしました。AZMI 君を始め、マレーシア全土からの選抜チームですが，元気で素直な子ども達は、僅か二晩のみでしたがともどもに涙でわかれていました。今年は，何組かの家庭が夏休みということもあって、グラウンドに応援に見えました。マレーシアのチームの監督も応援団でマレーシアからいらっしゃった二家族の方々も喜んでくださいました。**ホストファミリー対面会では，NGO インターンシップで研修中の鈴木けい美さん（松伏高校３年生）が司会進行を上手にされました。**

ホストファミリー宅の小学３年生の夏休み自由作品を見せていただきました。

> マレーシアの地図から来日選手の出身地を記入。 ステイした二人の選手の写真を貼ってコメントを入れてありました。マレーシア語でしたので，メイあさかセンターに訳してもらいに来てくれました。
> ジェ-バン　クマラーン君・ノールハケーム君＝いっぱいお話ができてうれしかった。お父さんにもっといろいろなことを習いたいと思いました。

本田技研研究所 NH サークル（藤原組）より

所内オークション売上金をメイあさかセンターに

７月 31 日，センターに４名の社員の方々が訪問されました。
初めての試みで、所内ネットオークションを試みた結果、思いのほか好成績を収められて，インターネットで情報収集し、NPO 法人格を持つ当センターにはじめての寄付金（15,807 円）を贈ってくださいました。

トピック

転載

Lend a Hand Movement 手を貸す運動ニュース59号

2003年12月8日発行 〒194-0043 東京都町田市成瀬台4-1-20
発行人 手を貸す運動本部代表佐藤正明 TEL042-726-3067 Fax042-726-6457
郵便振替番号 00130-4-16565 加入者名:手を貸す運動
E-mail:josfranc@purple.plala.or.jp or lhm82-sl@hotmail.com URL: http://www6.plala.or.jp/tewokas/

シエラレオネ(西アフリカ)教育里親

はるか日本の皆様

(1ヶ月遅れですが、シスター根岸さんからの手紙をお届けします)

はるか日本の皆様

11月となりますともう日本は寒いでしょうね。富士山もきっと雪化粧をした事でしょう。しかしこちらシエラレオネは乾季が始まり、汗びっしょりの毎日となりました。

お蔭様で職業センターはDEFIによって修築が始められ急ピッチで工事が進められています。早ければ12月には新校舎に移れそうです。今までの校舎の6倍の広さです。皆大喜びしています。しかし、中の設備はまだです。でも雨がもう漏らないでゆっくり学ぶ事が出来るのは本当にすばらしい事です。今はまだ教室が足りませんので、大きな木の下で授業が行われています。あと一ヶ月の辛抱です。DEFIは英国のNGOですが今回、日本政府がこのDEFIを通してシエラレオネに支援してくださいましたので、日本人の責任者がいる私達のセンターが優先されたのでした。

皆様の暖かい御支援、深く感謝申し上げます。この度は日本からコンテナまでお送りくださり、どんなに喜んでおりますか知れません。ありがとうございます。皆様の暖かい御支援により、今年も約4千人にのぼる生徒がおいしい給食を頂いています。ルンサにはたくさんの学校があるのに、ほとんどの生徒がカトリック校に殺到するのには二つの大きな理由があります。一つはおいしい給食が毎日頂けるからです。ルンサの子供たちにはまだこの食事がたった一回の食事らしい食事なのです。小学生だけでなくセンターの娘達も同じです。彼女たちの90%は反乱兵に暴行されたり、子供を生まされたり、両親を自分の見ている前で殺されたりと身内に犠牲者を持っています。両親を失い全く孤児になった生徒もたくさんいます。頼る人もなく、ミッションの助けによってセ… に来て学んでいる生徒も多いです。これ… って給食は大きな恵みです。皆様、あり… 二つ目の理由は、日本と違いこちらではは… 生が呑気というかあまり授業をしないのに、… 教師達のきびしい管理のもとに授業が毎日無… おり、他の学校とくらべて生徒の成績があが…

Merry Christmas and a Happy New Year!
恵み豊かなクリスマスとよいお年を!スタッフ一同
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

いて良い結果が生まれるからなのです。

また、先生達も皆様からの御支援で日常の糧であるお米を、クリスマスやイースターなどに頂けますので本当に感謝し、がんばって働いてくれます。皆様お一人おひとりのご協力により、ルンサの人々は復興の道を歩み始めました。完全に一人で歩めるようになるにはまだ時間がかかりますでしょう。でも確かに嬉しい実りも見えています。

シスター根岸さんが校長をしている職業センターの子連れ生徒たち

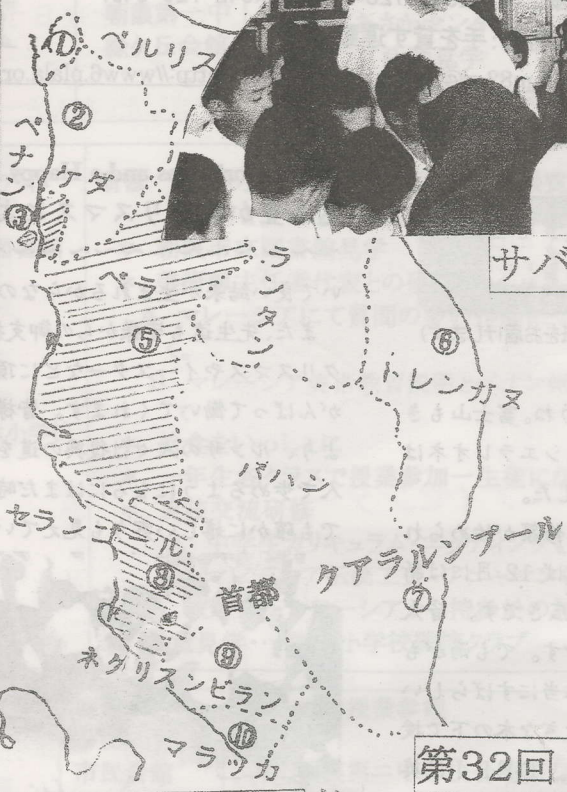
11月1日はピーターダオとマイケルコロマ、ジェラシオの終生誓願式が行われました。皆様の中には覚えていらっしゃる方がいらっしゃると思います。セカンダリーの小使いさんの長男ピーターです。彼には小さい時からスカラーシップを上げ助けました。小さい時は食べる物もこと欠き苦しい生活をしていました。私達の所で父親が働く様になると同時に奨学金も日本から頂き、高等学校に入れました。卒業の時、彼は私の所にきて私の前にひざまずき、こちらの最高の感謝のゼスチュアで「シスターありがとう。僕は無事学校を卒業できました。…とうございました。ランチのお金もありがと… と感謝をあらわしました。「よかったね。こ…たいなら助けてあげますよ」と言いますと、…う。宣教師の皆さんが命懸けで僕たちの…るのに、ただ出世ばかり考えていては… シスターにならって神様に仕え、多く… む兄弟達を助けたいので、これから… る事を決心しました

メイあさかセンターは、今年12月に22,000円を本部に送金いたしました。本年度は、ルンサの町にある女子中学校に1,000,000円の教育支援金が本部より送金予定されています。メイあさかセンターは、4月にも38,000円を送金予定です。

※メイあさかセンターでは9名が参加支援しています。

絵を通じての友好・第31/32回・サバ州での巡回

ペナン州展覧会表彰式で



サバ州　マレーシアと日本の児童絵画

2001年にスタートし、州立図書館と州教育局及
または教育事務所との協働で推進してきました。
サンダカンはサバ州で12回と13回の会場になる
7月から8月に掛けて実施。後半は，タワウで14回
場で実施。サンダカン図書館・コタキナバタンガ
タワウ図書館・ムロタアイブサール小
本年は財団法人石橋財団と埼玉県国際交流協

第31回　絵を通じての友好の交換

第31回に関しては例年同様2月末にて各学校へ、作品ご提供をお願いして一連のプログラムの行程がスタートします。

結果3月末で、小学校12校中学校3校より**合計670点**が提供されました。

ペナン州　　別掲

ペラ州：　5月20日展覧会開会式24日搬出

2004年度からは、広大な州なのでサバ州と同じに9行政地区を巡回展しようとなりました。ここでも、話題に「若い方にバトンタッチして、9年目にはおじいちゃん・おばちゃんで同窓会を。」と。期待されている事業です。

クアラルンプール・セランゴール州＝ゴンバ・KKB

31回も32回も交換会のみで展覧会は実施されません。着実に基本の交換を続けるなかで、担当者を得ることとメイあさかセンター以外の資金調達の道を付ける様模索中です。

第32回　絵を通じての友好の交換

第32回に関しては、7月始めに各学校へ、作品ご提供のご案内をしてスタート。埼玉県事業高校生NGOインターンシップを受け入れる都合で若干早めにご提供頂きました。夏休み前には、12校と書道塾から合計**533点の作品**が届きました。高校生が見えることを契機に、ローマ字表記の割愛など、出来るだけ先生の仕事負担を少なくと心がけました。

ペナン州

第31回＝17小学校3中学参加交換会
第九回ペナン展　6月16日～29日
ニ会場で開催7,000名入場
第32回 17小学校3中学校参加交換会
ワールドフィッシュセンターへ魚・漁村風景の作品寄贈式といっしょに。

今年は、新型肺炎の影響で渡航が厳しくスタディツアーは履行せず。

国際
作品の
心して
ボランテ
学生に
デオカ
までを
した。2
も異な
ですか
くなる
が終了
仕上げ
では美

マレーシアで　日本で

ペナン州教師美術協会会員スタディツアー

2003年11月10日～15日　朝霞市滞在〈詳細日程裏面参照〉

事前事業・・・11月8日・9日・・マレーシア児童画と来日予定教師の作品展

昨年、ペナン州での展覧会が終了した際にミスユーやミステーと「日本に行くには、どのぐらいの費用が必要か」などと話し合っていました。なんと一年半には実現しました。

朝霞コミュニティセンター

絵を通じての友好の第3段階での、人物交流で目的を3つ持つ大変な来日となりました。

マレーシアへ出かける都度、打ち合わせをし、渡航費はマレーシアサイドでと合意。

1. 研修　2. 展覧会
3. ホームステイ
4. 観光

小さなメイあさかセンターに、多くの大きな力が終結しました。朝霞市教育委員会が小・中学校での研修とコミセンでの展覧会の便宜を。

朝霞市文化協会が、産業文化センターでの展覧会を協働で。朝霞西高校が2年生の授業をいっしょに。

18世帯の方々がホストファミリーを引き受けてくださいました。通訳も15人にお世話になりました。費用的には JICA の支援金を全部の費用の4割を受けられます。18日元気で成果をみやげに帰国しました。

ペナン州教師美術協会の活動をパソコンで説明

朝霞市産業文化センターで開会式

JICA 東京センター職員
マレーシア児童の作品を簡易画集に。

好評で、展覧会後、交流小学校へ寄贈済み。

朝霞第四中学校

展

展覧会　2003

ボ図書館ブランチ
今年前半の会場
ところです。
と15回目の会
ン小学校
学校
会の助成金受領

友好賞状もフォームを変え、
写真撮影も、Oご夫妻が安
動できるようにと、3　年間
ィアでかかわれるという大
台のパソコンとデジタルビ
ラでの　撮影と画像処理前
南しながら作業を進めま
日間だけで、サイズも絵柄
多様な作品を採り込むの
、大好物の鯛焼きもぬる
大童です。O 婦人は仕事
てから夜なべで画像処理
て届けてくださいます。学校
い出来映えに大喜びです。

研修滞在日程

11月8・9日	中央公民館 ホワイエ	マレーシア小・中学校の作品とペナン州教師の作品展示 鑑賞者多数 《代表が10月5日に帰国の際持帰り》
11月10日	成田着 朝霞第一中 緑ケ丘会館	＊緑が丘会館へ ＊ 表敬訪問・・・朝霞市長・教育長《朝霞市長・教育長・参事・指導主事《岩岬・熊谷先生》・JICA東京・メイあさかセンター通訳 ＊ 昼食 ＊ メイあさかセンターで打ち合わせ ＊ クラブ活動見学 ＊ ホストファミリー対面会と歓迎会　ホームステイ
11月11日	コミュニテイセンター 朝霞市図書館 コミセン 朝霞第六小学校	研修　市内小・中学校絵画・図工作品展覧会会場にて説明を受けながら観賞 ＊ 朝霞市立図書館見学 ＊ 美術課主任者代表との研修・・・ A マレーシアにて質問の多い作品について説明をいただく。 B マレーシア美術教育説明とペナン州教師美術協会について ＊ 給食をいっしょに ＊ 一年生各クラスで授業参加一生徒になって ＊ 実技交流研修 A 中学生カリキュラム・エッチィング《宮田先生》 B マレーシア伝統工芸　アニャマン（やしの葉とメンクアンで・・・・・マレーシアから持参於の材料で） ＊ 学童見学・・・第六小学校隣接クラブ　ホームステイ

朝霞第六小学校で給食体験

11月12日	朝霞第四中学校 市民会館 朝霞第四中 博物館 産業文化センター	＊ 美術授業参観 ＊ 朝霞第二中学校合唱祭見学 ＊ 給食体験 ＊ ホテルチェックイン ＊ 見学 ＊ 展覧会搬入・展示　文化協会といっしょに ホテル泊

11月13日	メイあさかセンター 朝霞西高校 上野中心に	＊ 準備　今後の説明 ＊ 研修 A 西高等学校川添先生授業 B マレーシア先生が授業　アニャマン C 見学職員と研修話し合い・・・・・昼食 ＊ 東京見学・・・・博物館・・・ほか　ホームステイ

11月14日	産業文化センター 09時 14時 18時	展覧会準備仕上げ・・・開会　一般公開 ＊ 開会式　文化協会と相互研修 ＊ 半分のメンバーは東京へ研修　散策 ホームステイ

テイ代表から大塚会長へ記念品

11月15日	産業文化センター　09時 17時 19時～	＊ 展覧会一般公開　文化協会とごいっしょに ＊ 半分のメンバーは東京へ研修　散策 ＊ 展覧会　閉会 ＊ 撤出 ＊ 打ち上げとホストファミリーサヨナラ会　ホテル泊

16日朝でメイあさかセンターの責任は終了・ごいっしょに川越散策・午後　池袋～新宿へ

18日　成田を出発帰国の途に。お見送りしました。みなさんお元気でお帰りになりました。

NGO／高校生インターンシップ受け入れ・4名

埼玉県が国際交流協会に委託して、今年から始められた新規事業です。埼玉NGOネットに加盟している団体から8団体が挙手して受け入れました。時期的にも7月から12月までとばらつきがありましたが、メイあさかセンターは、7月29日～8月4日までの4日間を受け入れました。松伏高校3年生2名・熊谷女子高校2年生2名が遠方にも拘らず早朝から元気に通ってきました。メイあさかセンターは作業に使える面積が狭いので、株式会社葵電機さんの社屋の一部を借りて、連日汗いっぱいの中で作業に取り組みました。

丁度、絵を通じての友好第32回交換会用マレーシアへの提供作品を整理し、センターではパソコン入力を拓殖大学の学生に教えていただきながらこなし、新アイディアを提言するなど活躍しました。昼食は、高齢者ミニデイサービスの会員の手作りを頂きお話が楽しそうでした。

4日は、埼玉県国際ジュニアサッカー大会で来日した、マレーシアナショナルチームのホストファミリー対面会で、総合司会やマンドリン演奏をするなど活躍でした。

来年も、制度があれば是非挙手し、活用したいと思います。もっと近いところの方がいいですね。・・・その後の活動の定着のために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

鈴木さん　長谷川さん

原口さん　新井さん

○　今回の活動を通して、国際交流ということに興味を持っていたはずの自分が、実は何もわかっていなかったということを痛感しました。実際に交流した時間はほんのわずかでしたが、私はその間“Hello”と言って手をふることしかできませんでした。世界の公用語を中学から学んでいてこれしか使えないのかと思うと少し失望しました。

また、このような企画はまだまだ日本は少ないと思いますし、私を含めた学生は、世界の歴史や文化どころか、日本のことについてもまだまだ努力しなければいけないと思います。

現在の世界は、大半の国は自由に行き来することができ、国際化が進んでいますが、その流れにのって日本人自身が国際化に流れ日本人の意識が薄れてしまっている気がします。

私は今回のような機会はもっと増やしていくべきだと思うし、そのために私たち学生がもっと視野を広げて、いろいろなことを勉強していくべきだと思いました。　（県立熊谷女子高校　原口　かず葉）

大活躍された鈴木さんは、希望大学へ推薦で決まりましたとご報告くださいました。

新井さん・長谷川さんからも連絡が届いてますが紙面の都合で・・・・。

朝霞市女性学級補助金事業開設

積極的なシニア人生を・・・開発教育を学びながら

順調にプログラム後半へ

一月十七日〈土曜日〉
身近なシニアの多様な生き方を…学ぶ

一月三十一日〈土曜日〉
JICAシニアボランティアについて学ぶ
体験者のお話と職員の説明

三月十四日〈日曜日〉
ワークショップ
連なることの豊かさ

12月6日〈日曜日〉 男性も一緒に学習＊＊＊＊
ワークショップで"自分への気づき"を
講師は東和大学国際教育研究所 石川一喜氏

参加のご連絡は、当センターまで

「高齢時代に多様な生き方が創造されていますが、今、あなたは何を考え、何を準備していますか。キャリアに ちょっとプラスして見ませんか」 **男性も女性もご一緒に学びませんか**とお誘いして、スタートしました。

10月18日初日は、拓殖大学赤石和則教授〈当センター監事〉を招いて、基調講義を設け、男女28名の参加者で学習をし、今後の学習の視点を確認しました。

二日目は、さいたま市在住のお茶の水大学大学院生と川口市在住自営業の高齢者によるODA 視察体験を伺いました。男性の参加もあり、ベトナムやバングラディシュへの興味を示しました。この際の講師お二人はその後、絵を通じての友好ペナン州教師のスタディツアーで来日された際、滞在中の**通訳チーム**に入ってくださった大学院生。**当センターの会員**になられた自営業の方と、お互いに出会いに感謝しています。

センターとしても、新しい参加者が増えて、これまでとは異なる視点で活動を見なおすチャンスにもなります。

シニアボランティアの学習会は **JICA 東京国際センターの国際協力出前講座**の範疇で実現します。 今回の女性学級に関しましては、JICA の在埼玉県推進員にたいへんお世話になりました。また、**さいたまNPOセンター**が中心になって発行した『埼玉のNPO・市民活動イベントカレンダー/知るつながる広がる』にも掲載しました。さらに学級生に新人を迎えたいと思っています。

::::::::: 出会って つながって 視点を変えて センターの活動に新風を ::::::::::

視察民間モニター報告書やODAに関するQ&Aなども資料として利用しています

トピック

地域に開かれてます

センターオープン		ミニデイ	訪問客	スタッフほか	合　計
開　設　数	227日	89日	415名	1，155名	延 1，900名
5/1 ～12月25日		延250名			

ガレージセールにいろいろな試み

トピック

長年参加してきましたおやちゃい村のバザールも毎月の開催がなく、市民祭のフリーマーケットも、センターのスタッフの高齢化と小さな集いの参加者も最高齢者が 90 歳となりましたので、ここ2～3 年不参加でした。工夫の結果、センターお向かいのうなぎやさん（まる喜）のガレージをお借りして単独のバザーを実施することが出来るようになりました。手作り品・提供品さらに、秋から土地の新鮮野菜を少し試みとして置いてみました。好評です。販売数は多くはなくても、オープンセンターで、活動の内容を理解する方が増えました。新しい方々へのPRとして、チラシの投げ込みをするなどスタッフも努力して、試みに挑戦しています。隔月実施予定 。

朝霞でいきいきネットワーク【介護予防】団体として発足

昨年・一昨年と朝霞市（健康対策課・高齢者福祉課・社会福祉協議会）の主催で行われてきました「介護予防シンポジウム」もいよいよ、朝霞市内で自主的な組織を作って、一層広く普及活動や従来の活動者も学習のチャンスをということで組織されました。（設立8月26日）会長に中川武夫様（宮戸元気会代表）を選出しました。メイあさかセンターは会計を担当します。すでに、平成 16 年度の行事として、朝霞市介護予防いきいき推進大会というシンポジウムを目標に動き出しました。朝霞市の各担当との連携はこれまで同様続けられます。メイあさかセンターも長年の蓄積にさらに研修を積んでスタッフの仕事内容の充実を図りたいと思います。

朝霞第六小学校との連携 ◯◯。　各学年といろいろな場合に・・・

朝霞第六小学校一学年全員参加のお楽しみの一時間

１２月１２日（金曜日）５時間目を控室で待つ高齢者の顔は、緊張とちょっとした不安を隠せませんでした。各グループ代表のお迎えに、数分前の顔がうそのように、にこにこはにかみながら手をつないで指南役の自信の顔に。（１頁写真を参照）

当センターの「小さな集い」のみでは、学校にある遊具を駆使しきれないので、当センターがある町内会富士見の高齢者（男性＝おじいちゃん）に応援を仰ぎました。富士見クラブ橋本会長はじめ４名が参加。当センターからの男性ボランティア１名を含め総勢１４名が５グループに入り『昔こうして遊んだの』と、楽しい時間を過ごしました。『自分ちの孫とも、いまはこういう遊びはいっしょにしないから、遺こしていくのは大切だね。』と、高齢者。１月に『じょうずにできるようになったよ！』を見るために、さらに、保護者に『地域との連携』の実際を理解していただくためにとの学校からの依頼で２度遊びに行きます。　後日のお便り⇩

先生、あのね。きょう、おじいちゃんおばあちゃんがきたよ。なまえは、山田さんとほそ田さんです。山田さんにブンブンゴマをおしえてもらったらブンブンなってうれしかった。ほそ田さんにけんだまをおしえてもらったよ。そうしたらはじめてのっかってうれしかった。それでおうちにかえったらブンブンゴマをつくったよ。だけどブンブンなんなかった。パパがつくったらブンブンなった。うれしかったです。

（小林しんやくん）

総合的な学習の時間・体験学習などで、小学校訪問をしてます。先生との打ち合わせを蜜に努力して効果を出しつつあります。しかし、発足して間もなくというのに、ゆとりから学力重視の視点も採り入れるようにとの緊急な変更も採り沙汰されてきました。児童のためとの姿勢は変えずに受けていきます。

総合的な学習の時間

《国際理解》３年生

９月１１日　３年生が全員、体育館に集い、運動会の練習で校庭から聞こえる大きな音も気にしない程、熱心に代表理事尾池のお話に集中、マレーシアについて、児童画や民具などを介して学びました。事前学習と当日が良くフィットしたことが感じられました。自分たちの作品をマレーシアへ持っていってくれる『メイブンコ』が現実に見えてきたうれしそうでした。

９月の体育館は真夏の暑さでした。
質問がいっぱいで・・難しかった！

第46回埼玉文化賞受賞

４６年間も地域文化振興に貢献された方々を顕彰し続けてこられた埼玉新聞社が、ＮＰＯ法施行５周年を期して、ＮＰＯの表彰をと思い立った初の受賞者に推薦されました。歴史のある賞・初のＮＰＯという二重の喜びを頂き感謝いたしてます。３年目を乗り越えることに四苦八苦中でしたので・・・・。任意団体から運営の中枢で手弁当で連日活動され基礎を作った方々へも感謝いたします。地域で長年ご支援くださった方々へも、さらに努力してＮＰＯとしての役割を遂行していくことで御礼したいと思います。１１月２０日、代表と理事２名、会計高野とともに、授賞式に臨みました。

現況

6月8日（日）朝霞市産業文化センターを会場に、第3回総会を開催してからの8ヵ月の間に、会員も賛助会員も事業参加者も増えています。

項　目	人数	内　容		特　記
会　員	８０名 (口)１２３口	７９個人／１法人		女性/ 男性各１名
賛助会員	１１３名	３７名　カンパ者 ３６名　物品提供者 ４０名　特技提供者		複数回のカンパをくださる方も増加しました。
事業参加者	７９名	２７名　小さな集い月例も １名　〃ミニデイのみ ９名　手を貸す運動 ８名　国際交流亭 ３４名　女性学級	２５名 ０名 ７名 ６名 ――	

2003年12月25日現在
今年度の、8ヶ月を経過した段階での数字です。どうぞ会員増にご協力を。

お互いさま＊循環の仕組みを＊協力し合って
赤い羽根卓上募金＝3,803 円を社会福祉協議会へ
埼玉県国際交流協会協力基金卓上募金＝4,100円送金

NPO法人会費 一口3,000円～

教育里親 シエラレオネ 女子中学生に

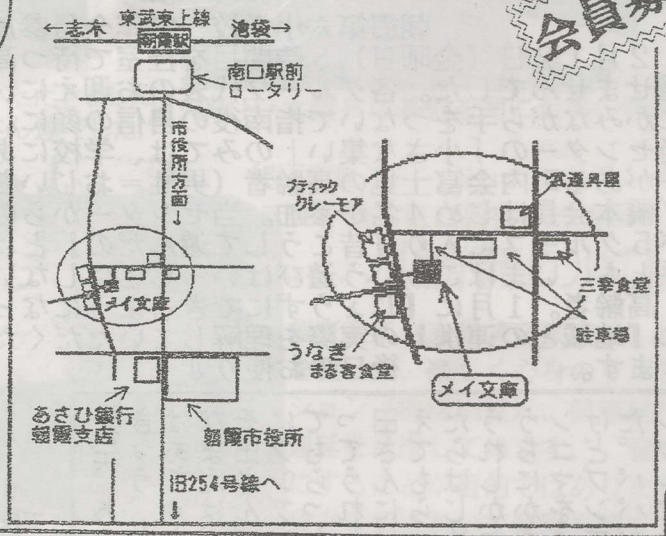
事業指定寄付 絵を通じての友好 小さな集い 運営管理費

会員募集

振込み先口座　ごいっしょに活動を

会費
カンパ　郵便振込口座　00130－9－114311
特定非営利活動法人
メイあさかセンター

教育里親　郵便振込口座　00100－6－361698
メイ文庫



あとがき

かろうじて年内発行が間に合いました。
多忙を極めた本年の活動ですが、新たな協働も成立し事業の成果が報告されることが多々あったことは嬉しい限りです。
経営・資金繰り・人材の確保にと奔走している日々でした。
埼玉文化賞46年の歴史の中で、NPO表彰第一号に推挙されたことは励みになりました。新会員や事業参加者を増やし更なる躍進を・・と思いつつも、この号は急ぎの編集でお届けすることになってしまいました。・・・・。次号でまた詳細を・・・【尾池】

MALAYSIA の連絡先＝MAY Library
Penang　c/o JM Recerch&Consultants
10,Lintang Delima 2, 11700 Gelugor Penang
Tel,60-4-6565370 FAX,60-4-6565369
Sabah,　C/o A.O.D.Sdn Bhd
P.O.Box 486,Tuaran,89208 Tuaran Sabah,
Tel,60-13-8579236 Fax,60-88-791893

Head Office
NPO Corporation MAY Asaka Center
MAY Library
2-7-17 Honcho Asaka-Shi, Saitama,
JAPAN 351-0011
Tel,81-48-468-6972 Fax,81-48-467-7699